

平成31年度(2019) 出雲市水道事業会計予算の概要

1. 予算の概要

出雲市水道事業では、近年の水需要の動向から料金収入の減少が見込まれる一方、多数の施設を稼動するための維持管理費など支出は増高する傾向にあり、経営状況は厳しいものとなっています。そうした中、建設改良事業においては、継続費で行ってきた向山配水池等再構築事業が平成30年度で終了し、今後は「出雲市水道事業ビジョン」に基づき、事業を平準化して実施していくこととしています。

平成31年度予算の収益的収入では、給水人口や戸数に大きな変動はありませんが、節水型機器の普及等により1人当たり使用水量が減少傾向にあるため、料金収入は微減と見込んでいます。また、受託工事収益の大幅減によって、前年度に対し約1億7,000万円の減としています。

一方、収益的支出では、動力費の高騰等による維持管理費の増加や、向山配水池の供用開始による減価償却費の増加が見込まれますが、収入と同様に受託工事費の大幅減などにより、支出全体では前年度に対し約1億6,000万円の減としています。

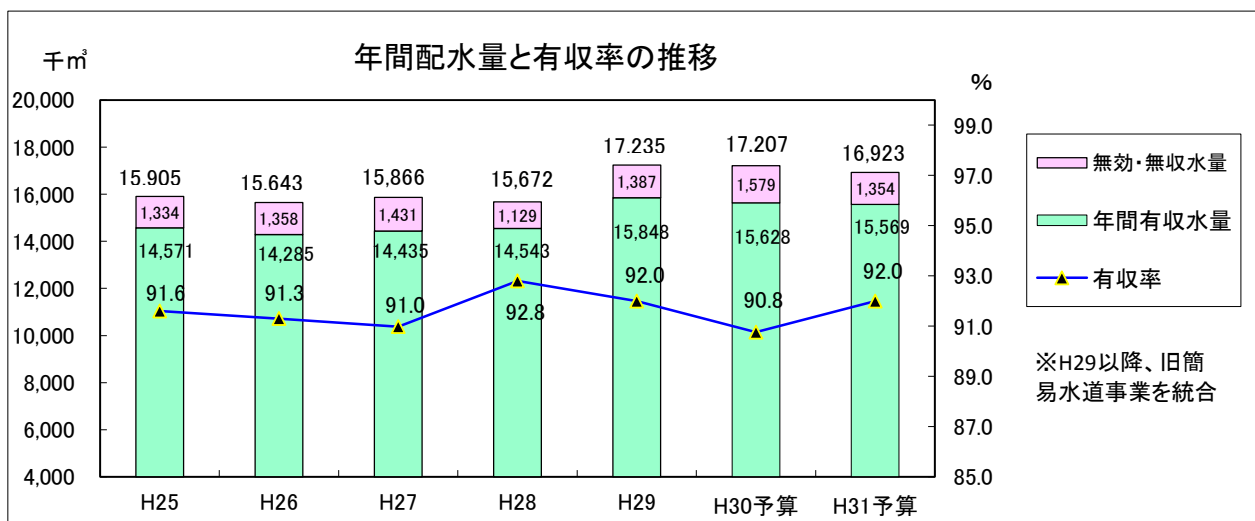
また、資本的収支では、新向山配水系配水本管整備事業(配水本管二条化)を引き続き推進するとともに、管路等の更新や耐震性向上に計画的に取り組めます。また、安定した水源確保のため、来原系の水源調査や出雲北部地域の水運用計画の策定に着手します。

2. 業務量

区 分	平成31年度予算	平成30年度予算	増 減	平成29年度決算
給水人口(人)	144,000	143,700	300	144,283
給水戸数(戸)	54,000	54,000	0	54,538
総配水量(千 m^3)	16,923	17,207	△ 284	17,235
有収水量(千 m^3)	15,569	15,628	△ 59	15,848
有収率(%)	92.0	90.8	1.2	92.0

給水人口及び給水戸数は、市全体の人口動態やアパート・分譲地の給水申請状況から、ほぼ横ばいと見込んでいます。

総配水量及び有収水量は、節水型機器の普及等の影響により、前年度より若干減少すると見込んでいます。また、有収率については、平成29年度決算と同程度と見込んでいます。



3. 収益的収入及び支出（給水事業経営のための収支）

[単位:千円]

区 分		平成31年度 予算(税込)	平成31年度 予算(税抜)	平成30年度 予算(税抜)	増 減	平成29年度 決算(税抜)
収 入	水 道 料 金	2,714,320	2,498,000	2,500,394	△ 2,394	2,536,636
	受 託 工 事 収 益	79,520	72,806	253,612	△ 180,806	17,660
	そ の 他 営 業 収 益	77,308	72,647	46,741	25,906	82,653
	加 入 金	75,074	68,820	68,450	370	82,990
	そ の 他 営 業 外 収 益	511,027	510,615	524,174	△ 13,559	548,366
	うち長期前受金戻入	401,711	401,711	408,089	△ 6,378	419,956
	特 別 利 益	200	200	200	0	2
	合 計	3,457,449	3,223,088	3,393,571	△ 170,483	3,268,307
支 出	職 員 給 与 費	334,870	334,627	330,920	3,707	315,184
	営 業 費 用	1,017,328	934,573	913,574	20,999	922,467
	減 価 償 却 費	1,527,000	1,527,000	1,521,000	6,000	1,498,159
	資 産 減 耗 費	53,143	52,773	60,990	△ 8,217	44,095
	受 託 工 事 費	102,878	95,774	265,333	△ 169,559	22,619
	支 払 利 息	203,915	203,915	218,161	△ 14,246	230,887
	そ の 他 営 業 外 費 用	130,540	57,842	56,914	928	53,354
	特 別 損 失	600	600	600	0	461
	予 備 費	10,000	10,000	10,000	0	0
	合 計	3,380,274	3,217,104	3,377,492	△ 160,388	3,087,226
純 利 益			5,984	16,079	△ 10,095	181,081

平成31年度の純利益は、水道料金収入の減と、動力費・委託料などの営業費用や減価償却費の増により、前年度より10,095千円減の5,984千円と見込んでいます。

【収入】

- 水道料金は、前年度より約0.1%減の見込み
- 受託工事収益は、次期可燃ごみ処理施設関連工事負担金、旧簡易水道不用施設撤去工事負担金
- その他営業収益は、下水道事業からの徴収委託等負担金、消火栓修繕負担金、設計審査手数料、督促手数料、原因者負担金等
- 加入金は、前年度並みの見込み
- その他営業外収益は、長期前受金戻入、一般会計繰入金、施設分担金、土地建物貸付料、預金利息等

【支出】

- 職員給与費は、一般職34人及び上下水道事業管理者の人件費
- 営業費用は、動力費、薬品費、修繕費、委託料、受水費等
- 減価償却費は、向山配水池等の供用開始に伴う資産計上により増
- 受託工事費は、次期可燃ごみ処理施設関連工事費、旧簡易水道不用施設撤去工事費
- 支払利息は、企業債利子償還金(うち旧簡易水道分90,416千円)
- その他営業外費用は、控除対象外消費税(特定収入に係る消費税額)

4. 資本的収入及び支出（建設改良のための収支）

[税込み金額 単位:千円]

区 分		平成31年度予算	平成30年度予算	増 減	平成29年度決算
収 入	企 業 債	300,000	300,000	0	300,000
	国 庫 支 出 金	0	26,706	△ 26,706	21,366
	工 事 負 担 金	123,031	132,578	△ 9,547	134,555
	他 会 計 負 担 金	10,010	9,067	943	21,481
	他 会 計 繰 入 金	452,717	430,057	22,660	404,266
	合 計	885,758	898,408	△ 12,650	881,668
支 出	建 設 改 良 費	1,565,841	1,669,161	△ 103,320	1,483,622
	うち拡張事業	250,984	190,271	60,713	288,273
	うち改良事業	1,314,857	1,478,890	△ 164,033	1,195,349
	企 業 債 償 還 金	826,323	791,517	34,806	751,695
	予 備 費	1,000	1,080	△ 80	0
	合 計	2,393,164	2,461,758	△ 68,594	2,235,317
収支不足額		△ 1,507,406	△ 1,563,350	55,944	△ 1,353,649

【収入】

- 企業債は、新向山配水系配水本管整備事業等の建設改良費を対象に3億円借入
- 工事負担金は、下水道や道路整備など他の公共工事に関連した支障移転負担金
- 他会計負担金は、消火栓新設工事に係る他会計負担金
- 他会計繰入金は、旧簡易水道事業元金償還金及び児童手当に係る一般会計繰入金

【支出】

- 拡張事業は、新向山配水系配水本管整備事業、上島水源地整備事業等
- 改良事業は、向山配水池等再構築事業関連事業、浜ポンプ場ポンプ施設更新事業等
- 企業債償還金は、元金償還金(うち旧簡易水道分452,026千円)

[主要建設事業一覧]

○ 拡張事業

事業名称	事業費(千円:税込)	事業概要
新向山配水系配水本管整備事業 (配水本管二条化)	176,000 【総額440,000】	国道9号姫原東交差点～姫原西交差点配水本管布設 工事(配水管φ1000:L=580m、φ600:L=575m) 【債務負担行為】期間:H32、限度額:264,000千円
上島水源地整備事業	20,900	揚水試験井工事 (井戸築造φ250、導水管布設工事、電気工事)
来原系水源開発整備事業	4,950	来原系水源調査検討業務
灘分・来原系連絡管整備事業	7,370	出雲北部地域水運用施設整備実施計画策定業務
その他一般拡張事業	21,906	塩冶町医大前新町線配水補助管工事 高岡町外県道矢尾今市線配水補助管工事 ほか

○ 改良事業

事業名称	事業費(千円:税込)	事業概要
向山配水池等再構築事業関連事業	72,395	配水管布設替工事L=265m ほか
浜ポンプ場ポンプ施設更新事業	220,000	ポンプ設備更新工事(送水ポンプ3台)、電気設備更新工事、中央監視装置更新工事、場内配管改良工事
支障移転・管路更新事業	706,158	老朽管更新工事16件、老朽管更新設計業務4件 支障移転関連工事39件、支障移転関連設計業務5件
設備・計装更新事業	92,758	浄水場、ポンプ場等の機械機器等更新工事
水道施設台帳整備事業	36,297	システム構築業務(債務負担) システム機器・ソフトウェア購入費

5. 補てん財源(留保資金)

(単位:千円)

財源内訳	H30年度末見込額	H31年度中増加額	H31年度中減少額	補てん額	H31年度末見込額
減債積立金	363	0	0	0	363
建設改良積立金	1,077,096	16,079	0	201,946	891,229
損益勘定留保資金	0	1,232,204	0	1,232,204	0
消費税資本的収支調整額	0	73,256	0	73,256	0
当年度純利益	16,079	5,984	16,079	0	5,984
合計	1,093,538	1,327,523	16,079	1,507,406	897,576
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	42,192				45,416
留保資金残高	1,051,346				852,160

平成30年度末の留保資金残高は、前年度からの繰越事業を含む建設事業の財源不足への補填を行った結果、10億5,000万円余りになると見込んでいます。

平成31年度も引き続き、建設事業に内部留保資金を活用するため、平成31年度末には約2億円減の8億5,000万円余りになると見込んでいます。

